

ドローン物流における河川上空の活用円滑化に向けた淀川水系木津川、服部川、柘植川、名張川、宇陀川、青蓮寺川(木津川上流河川事務所管内)の基本的考え方(Ver.1.0)

策定 令和8年1月23日

本基本的考え方は、ドローン物流(ドローンを活用した荷物等配送)における河川上空の活用円滑化に向けた基本的な考え方を記載したものである。なお、本基本的考え方は、「ドローンを活用した荷物等配送に関するガイドライン(国土交通省)」(以下、「ガイドライン」という。)を補完するものであり、本留意事項に記載のない事項は、ガイドラインを参照するものとする。また、本基本的考え方は、今後、さらにドローン物流が活性化し、複数のドローンが飛び交う将来を見据えて、適時適切に内容の見直しを行っていくものとする。

(基本的事項)

1. 関係法令等の遵守

ドローン物流にあたっては、関係法令及び地方公共団体が定める条例を遵守し、その他ガイドライン等を踏まえて運用すること。航空法及び地方公共団体が定める条例については、国土交通省航空局のウェブサイト(https://www.mlit.go.jp/koku/koku Tk10_000003.html)「ドローン情報基盤システム2.0(DIPS2.0)」(<https://www.ossportal.dips.mlit.go.jp/portal/top/>)も参考に、最新の情報を確認すること。

(河川区域内の土地の使用及び河川上空を活用する際の対応)

2. 河川法上の許可等について

河川は、本来自由に利用できる空間であるが、木津川上流河川事務所の管理する河川においては、落下等による他の河川利用者に対する危険、近隣民家への騒音被害等のトラブル・苦情が過去より多発しており、その防止の観点から、やむなく飛行禁止としている。

ただし、

- ・遊興としての利用でない公共性(河川調査、橋梁点検等)等の事業として行うもの
- ・河川(木津川上流河川事務所管内)で飛行させなければならない理由のあるもの
- ・安全計画が確立されているもの

これらの事由を全て満たした飛行の場合は、認めることがあるので、飛行想定場所の最寄りの出張所まで相談し、必要な手続きなど確認すること。出張所の分担区域及び出張所連絡先は下記のとおり。

連絡先:木津川・柘植川・服部川の国直轄管理区間

伊賀上野出張所(電話番号:0595-21-2403)

名張川・宇陀川・青蓮寺川の国直轄管理区間

名張川出張所(電話番号:0595-63-3720)

また、民有地や自治体等管理の河川公園等における取扱いについては、事前に、その所有者、管

理者に確認すること。

河川区域内の土地の使用及び河川上空の活用にあたっては、河川管理上の支障が生じないようになるとともに、他の河川利用者や近隣住民の迷惑とならないよう努めること。他の河川利用者や近隣住民との間で問題が生じた場合は、ドローン物流の運航事業者等の責任において処理すること。

3. 事故防止

河川上空をドローン物流で活用する場合、河川利用者や河川に設置している施設(施設利用者を含む)への影響を考慮し、ルート選定を含め、事故の防止、影響の最小化に細心の注意を払うこと。

4. 事故対応

事故が発生した場合には、事故の概要を速やかに所管の出張所や関係機関に連絡するとともに、ドローン物流の運航事業者等の責任において処理し、出張所から指示があった場合には、その指示に従わなければならない。

5. その他管理者等への手続き

橋梁や送電線などの河川横断工作物等の許可工作物は、その施設ごとに法令手続きや関係者調整が必要な場合もあり、ドローン物流の運航事業者等において必要な手続き等を実施する必要がある。その場合、出張所に関係者の有無、占用許可受者等の情報提供を求めることができる。

6. 河川利用等の状況把握

河川区域内において、防災訓練や花火大会その他の多数の者の集合する催しが行われている場合や工事を実施している場合にはその周辺の飛行が制限されること、また、ラジコン飛行場等として利用されている場合にはラジコン等を飛行させる者との調整が必要となることから、ドローン物流の運航事業者等は河川の利用状況を把握すること。河川区域内の催しや工事等については、出張所に情報を確認するとともに、必要に応じて木津川上流河川事務所管理課に情報提供を求めることができる。

木津川上流河川事務所管理課の連絡先は以下の通り。

連絡先：木津川上流河川事務所管理課(電話番号:0595-63-1611(代))

(飛行高さ及び運航調整)

7. 通常時の飛行

航空法の規定を踏まえ、河川区域内にある河川横断工作物等の物件の設置状況を確認し、地上又は水上の人又は物件との間に30m以上の距離をとることを原則とし、当該距離を確保可能な高度で飛行すること。また、木津川上流河川事務所がドローンを活用した河川巡視や施設点検等を行う場合や複数のドローン物流の運航事業者等が参入する場合などには、飛行ルートの重複又は近接により調整の必要が生じることがあり、木津川上流河川事務所が場を設けて関係者で調整する場合等が想定されることから、その際には協議に参加すること。

8. 緊急時の飛行

洪水発生時や大規模地震発生時などの緊急時に、木津川上流河川事務所による被災状況調査や緊急物資の輸送を行う際、飛行ルートの重複又は近接により調整の必要が生じた場合は、木津川上流河川事務所からの調整に応じること。

(その他)

9. 淀川水系木津川、服部川、柘植川、名張川、宇陀川、青蓮寺川(木津川上流河川事務所管内)における情報提供など

木津川上流河川事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/kizujyo/index.html>
川の防災情報(河川の水位や雨量に関する情報) <https://www.river.go.jp/index>

※「運航事業者等」とは、ドローン物流の事業計画者及び運航事業者、サービス提供者を指す。

- ・「事業計画者」とは、物流事業者や地方公共団体など、物流網の維持や買物支援などの観点からドローン物流事業を計画する者をいう。
- ・「運航事業者」とは、事業計画者からの委託を受け、ドローン物流サービスの提供のため、ドローンを飛行させる者をいう。
- ・「サービス提供者」とは、運航事業者・物流事業者・携帯電話事業者・気象観測サービス提供者など運航に関する業務を行う者、商店・病院・薬局など配達される荷物等を提供する者及び配達先における配達人等をいう。